

証券コード：8566

事業のご報告

2012年3月期第2四半期
(2011年4月1日～2011年9月30日)

リコーリース株式会社

はじめての人でもすぐわかる

リコーリースを徹底解剖

トップメッセージ

独自のフィナンシャルサービスで
さらなる企業価値の増大に
努めてまいります。

最前線レポート

- 1 小型風力発電機リース
- 2 医療機器リース
- 3 集金代行サービス

連載第2回

リコーリース CSRの取り組み



はじめての人でもすぐわかる
リコーリースを

徹底解剖



Q リコーリースの事業領域は？

「リース・割賦事業」と「金融サービス事業」の2つの事業を軸に総合的なフィナンシャルサービスをご提供しています。

リース・割賦事業

お客様の設備導入を支援する幅広いサービスを提供

- ファイナンス・リース ●オペレーティング・リース
- 割賦

Point

リコー関連の取り扱い約5割
その他、重点分野を定めて、分野毎の営業戦略を展開しています。

金融サービス事業

お客様の経営や業務効率化を支援する金融サービスを提供

- 集金代行サービス ●請求書発行代行サービス
- カード事業 ●ビジネスローン 自融枠 ●職域ローン
- ドクターサポートローン

Point

お客様の利便性を高めるサービスで、**収益基盤を強化しています。**

その他

車両及び輸送用機器

営業車、電気自動車
医療用検診車
フォークリフトなど



商業用及びサービス業用機器

レジ、ガスメーター
タイムレコーダー
計量器、包装機
ラベルプリンター
など



産業工作機械

印刷機械、部品製造機械など



取扱高の 分野別内訳

リコー関連

複写機・複合機
プリンター
ファクシミリ
ソフトウェア製品
デジタル印刷機
など



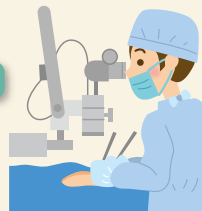
事務用機器・情報関連機器

パソコン、ホストコンピューター
サーバー、会計システム、通信機器
ルーター、ソフトウェアなど



医療機器

心電計、血圧計
AED、内視鏡
レセプトコンピューター
X線撮影装置
MRIなど



サービスの詳細はこちらをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/service/

リコーリース コンサルティングサービス

検索

Q

リコーリースの特長・強みは？

リスク分散が経営の安定と成長に大きく寄与しています。

特長

少額・大量契約で
貸倒れリスクが分散された
優良な営業資産を形成

取引先企業

40万社

(中小企業※1比率98%)

平均取引単価

180万円

(業界平均250万円)

Point

多数の企業とお取引することでリスクを分散しています。

強み

大量の契約を
高効率・高品質で
処理する体制を構築

年間契約件数

40万件

Point

紙を使用しない審査システムなどのIT活用と継続的な改善活動で、高効率・高品質を追求しています。

評価

第三者機関から**高い格付**※2を取得

S&P
(Standard & Poor's)

A+

R&I
(格付投資情報センター)

A+

JCR
(日本格付研究所)

AA-

Point

高い格付を取得することで
好条件の資金調達を実現
しています。

※1 中小企業の定義：製造業の場合、資本金の額または出資の総額が3億円以下の会社ならびに常時使用する従業員の数が300人以下の会社および個人を指します。(中小企業庁)

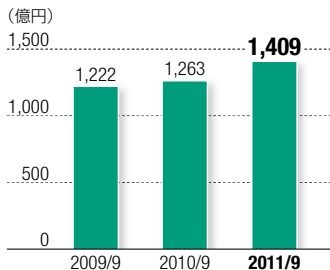
※2 格付：格付は公正な第三者である格付会社が、資金調達者の債務履行能力または個別債務(社債、ローン、OP等)の履行確実性を判定・表示したものです。格付は、格付会社が独自に定める格付記号によって表現され、比較可能となります。なお、上記は2011年9月30日現在のものです。

数字で見るリコーリース(2012年3月期第2四半期累計) 注)億円未満は切り捨て表示しています。

取扱高※

1,409億円

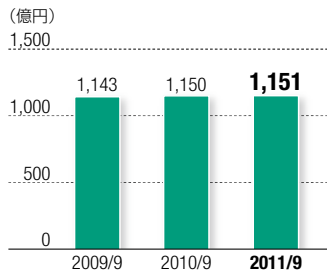
前年同期比 11.5%増 UP



売上高

1,151億円

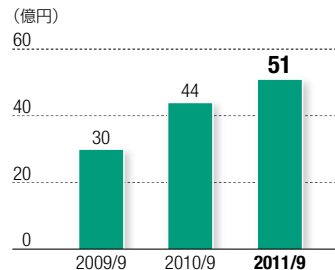
前年同期比 0.1%増 UP



当期純利益

51億円

前年同期比 15.6%増 UP



※ 取扱高：リース、割賦および融資を契約実行した金額の総額

→詳しくはこちら

P15～16の連結財務諸表のページをご覧ください。

**独自の
フィナンシャルサービスで
さらなる企業価値の増大に
努めてまいります。**

代表取締役
会長執行役員
吉田 勝美

代表取締役
社長執行役員
CEO
有川 貞広

**Q 2012年3月期第2四半期累計期間の
連結業績は？**

**A 厳しい経営環境のなか、第2四半期
累計で過去最高益を更新しました。**

当第2四半期累計期間は、東日本大震災やその後の電力不安、デフレや急激な円高、新リース会計基準による利益前倒し効果の低減など、依然として厳しい経営環境が続きました。

売上高は前年同期とほぼ同水準の1,151億円にとどまりました。利益面では、慎重な審査に加えて、政府の中小企業支援策や復興需要もあり、貸倒費用が減少しました。市場金利が低位で推移したことから資金原価も減少しました。また、再リース収益が増加しました。

その結果、過去最高益を更新し、営業利益は87億円（前年同期比12.0%増）、四半期純利益は51億円（同15.6%増）となりました。

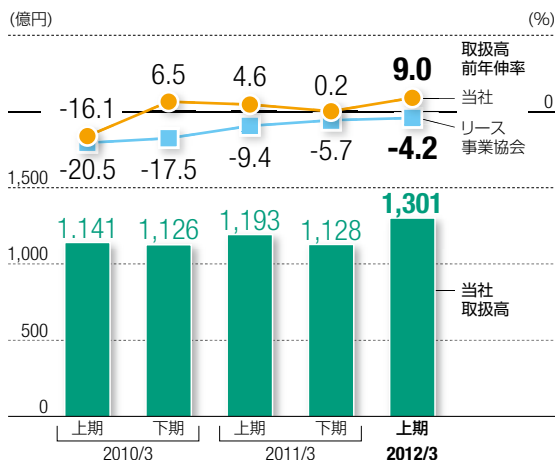
**Q 4月に発表した新・中期経営計画の
進捗状況は？**

**A 「目指す姿」の実現に向けて、事業基盤の
強化、領域拡大を積極的に進めています。**

当社は、2011年4月からスタートした中期経営計画に基づき、目指す姿である「利益ある成長を続ける**フィナンシャルサービス事業**^{*1}会社」を実現するため、一步一步着実に歩みを進めています。当第2四半期累計期間においても、設備投資意欲が低迷するなか、当社は有力**ベンダー**^{*2}との取引強化や、優良ユーザーへの接点営業強化など積極的な営業活動を展開しました。

その結果、当社の取扱高は1,409億円（前年同期比11.5%増）と、業界全体の取扱高は減少（前年同期比4.2%減）が続くなかで、前年同期比増加を達成しました。また、営業資産残高も5,570億円（前期末比2.1%増）と増加に転じ、リーマンショック以降の減少に歯止めを掛けました。

リース・割賦事業 取扱高の推移



具体的な施策としては、事務用機器・情報関連機器分野においては、**カーボンオフセットリース**※3などリース物件に付帯するサービス提案に注力しています。医療機器分野においては、これまで診療所を主たる顧客としていましたが、中規模病院や介護・福祉までターゲット層を拡大しています。

また、新規分野などへの取り組みも積極的に進めました。地域医療格差の解消に寄与するドクターヘリ、節電ニーズに応える小型風力発電機など、社会的な要請に応える新規分野の開拓を進めることで、新たな成長分野を創出していきます。

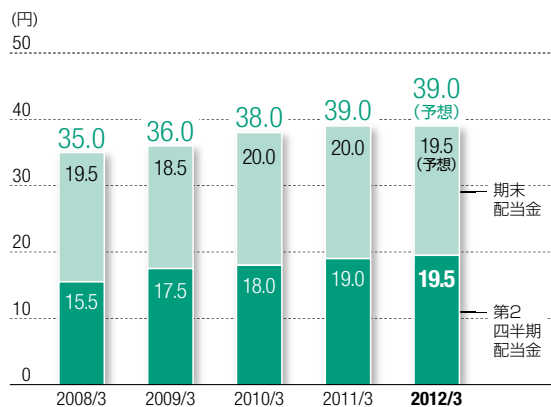
Q 第2四半期の株主還元は？

A 当第2四半期の配当は、19円50銭とさせていただきます。

当社は、リース物件などの購入資金の多くを金融市場および金融機関から調達するため、安定した資金調達が重要な経営課題であり、自己資本の充実とそれを通じた格付の維持・向上が不可欠となっています。そのため、財務体質の強化を図りつつ、長期的に安定した株主還元を基本方針としております。

この方針のもと、当第2四半期の配当金は、1株につき19円50銭とさせていただきます。

配当金の推移



吉田会長の
私の愛読書

「フラット化する世界
—経済の大転換と
人間の未来—(上)(下)」

トーマス・フリードマン 著



2000年代中盤に、新しい通信技術の出現によって、個人の働き方、企業のビジネスモデル、国家のシステムが猛烈な勢いで変わること、「世界のフラット化」と指摘し、警鐘を鳴らしました。今日のような試練の時代を生き抜くための示唆に富み、人は日々学ばなければならぬとの思いを新たにしたい一冊です。

Q 東日本大震災の復旧・復興に向けた取り組みは？

A 「事業を通じて復旧・復興に貢献する」という考えのもと、さまざまな取り組みを進めています。

当社では、義援金やボランティアなどによる支援もさることながら、「企業の設備投資を金融面で支援する」という自らの本業を通じて、被災企業の再生を支え、被災地域の経済復興に貢献していく考えです。

こうした考えのもと、5月には東北支社に「復興支援室」を設置し、被災企業の支援体制を強化しました。また、「復興支援リース・ローン」の提供や、建設機械や発電機などの復旧需要への積極的な取り組みを行っています。今後もきめ細かに、スピード感を持って対応していきます。

株主の皆様には、今後も温かいご支援、ご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

復旧・復興支援に向けた主な取り組み

被災企業の支援

- 復興支援室の設置
- 復興支援リース・ローン



2011年5月、東北支社に「復興支援室」を設置

ボランティア活動

- 本社・支社の社員のボランティア参加



いわき市や仙台市において、ボランティア活動に参加



寄付活動

- 株主優待品変更に伴う義援金寄付
- 新規契約1件につき、100円の義援金寄付
- 社内中古PCのチャリティー販売による義援金寄付
- リース終了後の複合機などを自治体へ寄付



株主優待品をクオ・カードに一本化する
ことで削減した費用を、義援金として寄付



社内で不要になったPCを
社員向けにチャリティー販売し、
売上を義援金として寄付

語句解説

※1 フィナンシャルサービス事業

「リース・割賦事業」「金融サービス事業」より広義で、当社が提供するすべての商品・サービスの総称。

※2 ベンダー

リコーグループの販売会社、リコーの製品を扱う販売店、医療機器を扱う販売会社など、当社とともに営業活動を行う重要なパートナーであり、直接のお取引先。このように、リース会社とベンダーが一体となって行うリースビジネスを「ベンダーリース」と言います。

※3 カーボンオフセットリース

排出量取引によってリース物件から排出されるCO₂を相殺し、環境負荷の低減を可能にするリースのこと。

IR活動ハイライト

リコーリースは、株主の皆様とのコミュニケーションを重視しながら、IR活動の充実を図っています。ここでは、ご要望が多かった「決算説明会」「株主総会」「株主優待を通じた寄付」に関する情報をご紹介します。

決算説明会で、業績総括や今後の成長戦略などを報告

当社では年に2回、決算説明会を開催しています。直近では、4月26日(2011年3月期)と10月25日(2012年3月期第2四半期)に実施しました。毎回60~80名のアナリストにご出席いただき、業績に関する実績と予想をご説明しています。

なお、決算説明会の様子は、ホームページで動画配信しています。



代表取締役社長執行役員 有川貞広がアナリストに説明

WEB 決算説明会資料などは、こちらからご覧いただけます。

www.r-lease.co.jp/ir/ir/meeting.html

リコーリース 決算説明会

検索

株主総会で、中期経営計画を中心にリコーリースの中期展望を報告

6月17日、「第35回定時株主総会」をホテルイースト21東京(東京都江東区)で開催しました。約400名の株主様にご参加いただき、業績報告のほか中期経営計画(2011~2013年度)を発表しました。一方、株主様からも多数のご質問をいただくなど、貴重なコミュニケーションの場となりました。

なお、株主総会の開催にあたっては、使用電力や株主様の交通手段などに伴うCO₂排出量を測定し、排出量取引によって相殺しました。



当社の中期経営計画を発表

WEB 株主総会の様子は、ホームページでもご覧いただけます。

www.r-lease.co.jp/ir/stock/shmeeting.html

リコーリース 定時株主総会

検索

株主参加型の社会貢献活動として、募金につながる株主優待を実施

当社では、2004年度から株主の皆様にお配りした株主優待品の使用額に応じて算出した金額を「緑の募金」(主催:公益社団法人 国土緑化推進機構)に寄付しています。寄付金は、国内外の緑化活動や森づくりに携わる人材の育成などに活かされています。なお、2010年度は151万円を寄付しました。



毎年、「富士山緑の募金の森」での緑化活動にも参加

WEB 株主優待については、ホームページでもご覧いただけます。

www.r-lease.co.jp/ir/yutai.html

リコーリース 株主優待

検索

連結子会社のご紹介

少額の債権回収を得意とする専門サービサー「リクレス債権回収株式会社」

リクレス債権回収は、法律に基づき、法務大臣の営業許可を得て2002年に設立された債権回収会社(サービサー)です。

リコーリースのお客様がさまざまな事情でリース契約を継続できないときに、回収業務を行います。お客様の事業の回復や安定化などを最優先に考え、返済を可能にするための助言を行うとともに、早期解決の決定をいただけるようサポートします。



リース・割賦事業

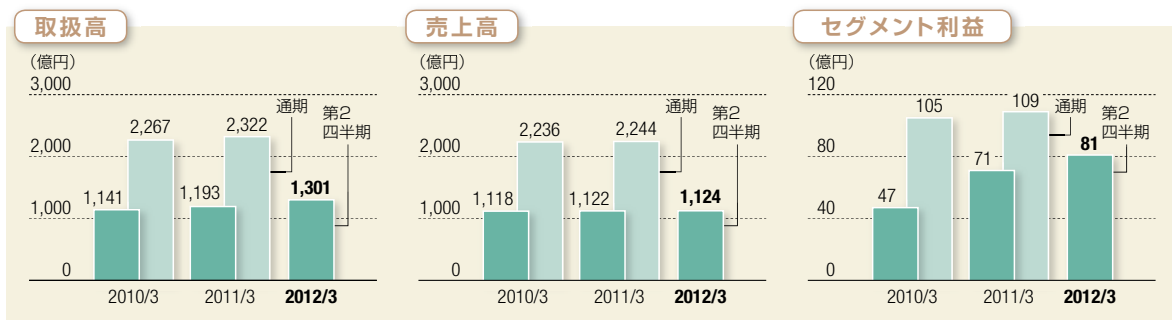
リース・割賦事業の売上高は1,124億円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は81億円(同13.2%増)となり、増収・増益を達成しました。

分野別の取扱高は、主力となる事務用機器・情報関連機器が前年同期比6.1%、医療機器が18.8%増加と安定した成長を継続。産業工作機械は20.0%減少したものの、商業用・サービス業用機器が24.2%増加、車両・輸送用機器が19.2%増加と

大幅に伸長したことで、全体では1,301億円(同9.0%増)となりました。

単なる機器提供ではなく、有力ベンダーへの付加価値提供の強化に加え、優良ユーザーへの接点営業強化、ターゲット層の拡大や新規分野の開拓などを、積極的に進めました。

今後も事業基盤の強化と顧客層の拡大により優良な営業資産の増大を目指します。



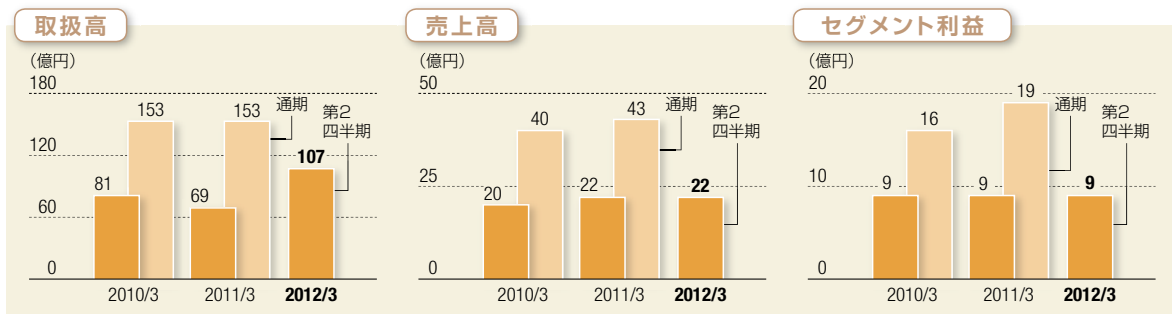
金融サービス事業

金融サービス事業の売上高は22億円(前年同期比0.4%増)、セグメント利益は9億円(同1.8%増)となり、増収・増益を達成しました。

分野別で見ると、受取手数料ビジネスでは、集金代行サービスが順調に伸長したものの、その他の手数料収入が減少したことで、全体では微増収となりました。また、融資関連のビジネスでは、住宅ローン

が順調に伸びたことに加え、法人向け融資が伸長し、融資取扱高が前年同期比53.9%増加しました。これらの結果、融資の営業資産は796億円(前期末比7.0%増)となりました。

今後も既存の商品の取扱高拡大に注力するとともに、新たな商品の開発・展開を推進することで、当事業の収益基盤の安定を図ります。



●セグメント情報とは、取扱高、売上高、利益その他の財務情報を区分単位(=セグメント)に分別したものをいいます。当社には、リース・割賦事業と金融サービス事業の2つの事業セグメントがあります。

リース・割賦事業編

開発会社様と
お客様に聞く

小型風力発電機リースで 環境対策をサポート

風力 + 太陽光のハイブリッド発電機の リース提供を開始

東日本大震災以降、節電対策が重要な経営課題となっています。当社としても、リース事業を通じて企業の節電対策や環境活動に貢献すべく、ループウイング社の小型風力発電機「TRONC(トロン)」に着目し、2011年5月に同社と業務提携を結び、リースを開始しました。



ヨシノ自動車様の厚木営業所に設置されている「TRONC」

「TRONC」は風力と太陽光を組み合わせた“ハイブリッド発電”により、外部電源不要で昼夜を問わず発電できます。また、小型で風切り音がないため、市街地での設置が可能であり、街路灯や防犯カメラの電源、災害時の非常用電源としての需要が見込まれます。最初の契約として、神奈川県

のヨシノ自動車様に導入していただきました。

今後も当社は、環境負荷の低減に貢献するビジネスの拡大を図っていきます。

開発会社様の声



株式会社ループウイングプロジェクト
代表取締役会長
渡部 照雄様

リコーリースさんは自然エネルギーに関する知識が豊富で、営業力も高いことから、引き合いが多くあるなかで、業務提携を結ばせていただきました。今後も関連商品を次々投入していきますが、リコーリースさんのネットワーク、販売力に期待しています。

お客様の声 株式会社ヨシノ自動車様

発電機らしからぬデザインで
イメージアップに役立っています。

当社はトラックの販売・リース事業を行っています。初めて「TRONC」を紹介されたとき、まずはその風力発電機らしからぬデザインに興味を持ち、会社のイメージアップと省エネの両方に有効と考え、厚木の展示場への設置を決めました。

LED照明とウェブカメラの電源として使用しており、お客様からの問い合わせがあるなど、話材としての効果も上々です。

代表取締役社長
中西 俊介様



「TRONC」は潜水艦のスクリュー技術が元になっているため、従来の風力発電機のような風切り音がなく静かで、安全性・耐久性が高いのが特徴。「暮らしの空間に設置できる風力発電機」として注目を集めています。

リースから開業支援まで 医療現場を幅広くサポート

Q 医療機器リースの営業で大切な点はなんですか？

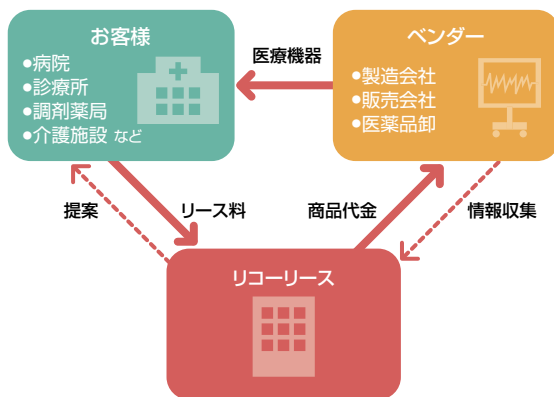
A 医療現場の方々と同じ目線で考え、最適なリースを提案します。

私は現在、神奈川県内の病院や診療所、介護施設などへのリース営業を担当しています。医療機器リースの営業には、金融面の知識はもちろん、最先端の医療機器や医療関連の制度、法律についての知識が不可欠です。

それ以上に大切なのが、医療現場の方々の想いを理解し、同じ目線で考えること。「どうすれば効率よく診察できるか?」「どうすれば患者様に喜んでもらえるか?」など、お客様と一緒に考え、時にはベンダーからの情報をもとに、必要な機器を

こちらから提案するといった姿勢が求められます。大変ではありますが、担当している診療所の先生から、「おかげで診療に専念できます」と喜んでいただいたときには、大きな達成感があります。

医療機器リースの流れ



リースに限らず、どんなことでもわからないことがあったら「斎藤さんに聞いてみよう」と相談していただける。そんな信頼される存在になることが、今の目標です！

医療福祉営業部 首都圏医療福祉営業課 斎藤 康太

斎藤のある1日のスケジュール *Schedule*

- 9:00 ① 製造会社や販売会社へのベンダー営業
- 12:00 ① お客様へ契約訪問(午前の診療が終わる際)
- 14:30 ① お客様へ契約訪問(午後の診療が始まる前)
- 15:30 ① 病院の院長、事務長へのお礼訪問
- 16:00 ① 新規開拓訪問
- 18:00 ① 製造会社や販売会社へのベンダー営業

「直行直帰の日も多いため、営業アシスタントスタッフとのコミュニケーションを密にとりながら、円滑な業務遂行を心掛けています。」



保坂有希子(右)
同課で斎藤をサポートしている。

斎藤康太のProfile

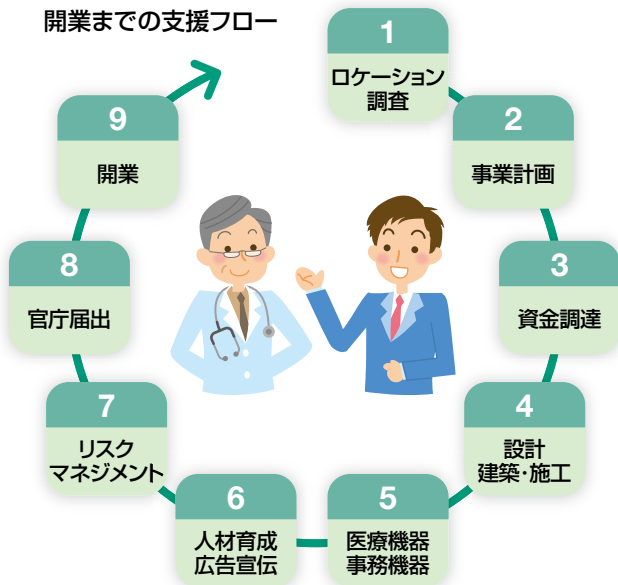
入社2年目の2004年から医療機器リースをメインに担当。以来、「地域医療の発展に貢献したい」という志を胸に秘めながら、日々のお客様への提案活動を行っている。

Q 医療機器分野における
リースの強み・特徴は？

A 医療機器リースだけでなく
開業支援も行っています。

医療機器を導入する大きな機会の一つが、診療所の新規開業です。当社では、開業資金を融資する「ドクターサポートローン」など新規開業

開業までの支援フロー



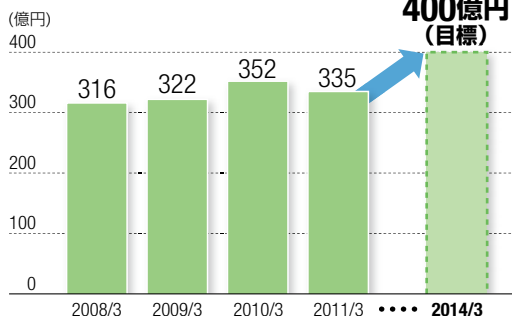
支援サポートを充実させて
います。

このような診療所の開業支援によっ
て、「医療機器の選定や事業採算の見方など
の相談もできるリース会社」として、お客様から
評価いただいています。

医療機器リースの中計目標

顧客層、事業領域を広げ
医療機器取扱高の拡大を目指します。

リース・割賦事業 医療機器分野の取扱高推移



TOPICS

緊急時医療に貢献する「ドクターヘリ」のリース

今後成長する分野の探索をしていたところ、国内でドクターヘリの
需要が高まっているとの情報を得て、他部署とともに事業リスク
や世の中のニーズなどを調査しました。当社としても初めての取
り組みであり、実現までは試行錯誤の連続でしたが、医療や輸送
機器に関する制度やリスクなどに関して社内のさまざまな部署に協力して
もらうことで、なんとか契約することが
できました。今後も新規分野の開拓に
チャレンジしていきたいと思いを。



オートリース推進部 輸送機器営業課
岸本 大輔



ドクターヘリ

金融サービス事業

担当チームが語る

「集金代行サービス」で 事業者様の業務効率向上に貢献



チーム内のコミュニケーションは抜群! メンバー同士が成功事例や市場動向などを情報交換しながら、一丸となって最適な提案に取り組んでいます。

決済ソリューション営業部 川村 淳

金融機関やコンビニとのネットワークを活用し、煩雑な集金業務を代行

商品やサービスの支払いを月ごとに銀行口座から引き落とししたり、払込用紙をもらってコンビニで支払いをしたりすることは、多くの方々にとって日常になっています。このように、営業担当や店舗の窓口が直接現金をやりとりすることなく、代金を集金する仕組みを提供するのが「集金代行サービス」です。当社提携の金融機関、郵便局、コンビニエンスストアのネットワークを活用したサービスで、お客様となる事業者様は、当社と契約するだけで「口座振替」や「コンビニ支払い」による集金が可能となります。

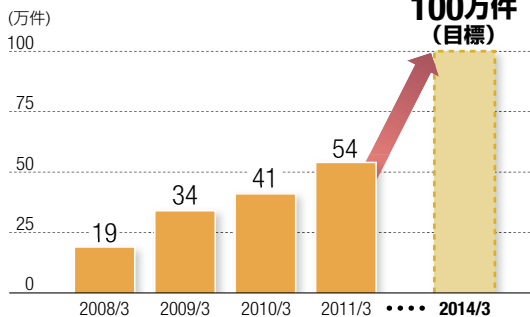
選ばれるサービスを目指し サポート体制を充実

他社のサービスとの最大の違いは、“導入の容易さ”です。入金状況などを確認できるインターネットの専用ページを無償で、初期費用なしに導入できます。運用費の発生もご利用月だけという、安心の価格設定も魅力です。また、1件からでも利用できるため、新規事業など、まだ顧客数が少ない事業者様に好評です。さらに、専用フリーダイヤルをはじめとした充実のサポート体制も、お客様からの信頼につながっています。

集金代行サービスの中計目標

対象業界を広げることで、3年間で
月間取扱件数100万件を目指します。

集金代行サービスの月間取扱件数推移



集金代行サービス 他社比較

	導入費用	基本料金	請求件数	サポート
当社	0円	利用月のみ	1件から	専用フリーダイヤルで安心サポート
A社	3万円	毎月発生	300件から	お客様負担での電話サポート

お客様の声 千葉北部酪農農業協同組合様



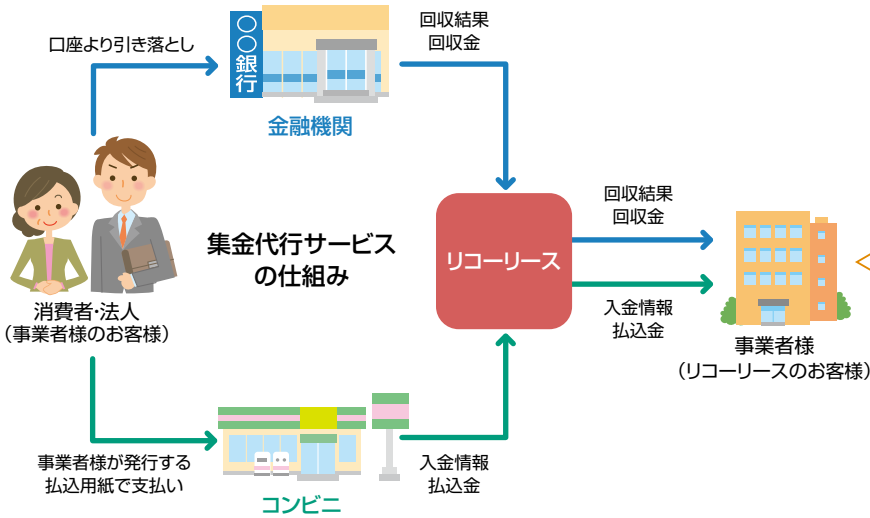
専門フリーダイヤルなど、充実したサポート体制で安心して利用しています。

私たちは「八千代牛乳」のブランドで宅配事業を展開しており、生産者の顔の見えるおいしい牛乳づくりに取り組んでいます。4年前、生協の宅配事業を引き継ぐ際、販売管理や集金の仕組みを構築する必要があり、株式会社オシカワシステムの販売管理システム「市乳くん」と同時に集金代行サービスを利用しました。導入当初は、システムの扱いに不慣れなどがありましたが、専用フリーダイヤルに連絡すれば操作方法や請求状況などすぐに回答いただけるなど、サポート体制が充実しているため、安心して利用しています。

農協事業部 営業課 課長 安藤 学様

口座振替サービス

預金口座から代金を代行回収(口座振替)します



幅広い業種・業態で活用いただいています

- 学習塾
- OB会・同窓会
- カルチャースクール
- 学会・協会
- 協同組合
- 弁護士・税理士
- 介護サービス
- 不動産賃貸
- 病院・診療所
- マンション管理組合

コンビニ収納サービス

コンビニを窓口で代金を代行回収します

お客様の声 富士通エフ・オー・エム株式会社様

全国40以上の拠点で簡単に導入でき、初期費用がかからない点が魅力でした。

当社は、IT研修、各種資格試験をサービスとして提供しており、テキスト代や受験料などを全国の拠点窓口で集金していました。現金は盗難や紛失のリスクがあるため、集金代行サービスの利用を検討し、数社のなかからリコーリースさんに決めました。決め手は、初期費用がかからず導入作業が簡単だったこと。入金管理システムがインターネット上にあるため、管理者がID・パスワードを拠点の担当ごとに割り当てるだけで、スムーズに導入できました。現金を扱う必要がなくなり、拠点ごとにシステム上で簡単に入金確認ができるため、業務負担が大幅に減り、助かっています。

経理部 遅澤 祐介様



リコーリース

CSRの取り組み

Vol.2

一人ひとりがイキイキと働ける環境づくりのために

第2回は、当社が社員のワーク・ライフ・バランスのサポートに向けて取り組んでいる主な活動とその成果を紹介します。



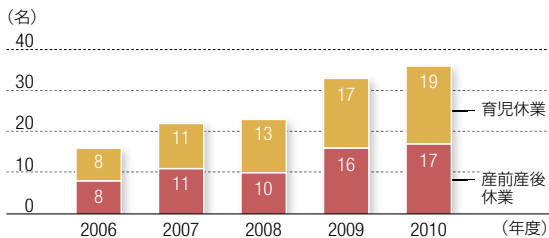
社員が育児休業を取りやすい環境整備を進め厚生労働省が認定する「次世代マーク」を取得

当社では、仕事と家庭の両立に積極的に取り組んでいます。2005年からは次世代育成支援対策推進法に基づき、出産・育児支援制度の充実を図っており、その利用者も年々増加しています。

2010年度は、男性社員向け「出産・育児ガイド」を作成するなど、男性が育児参加しやすい職場環境づくりに努めました。その結果、男性社員の育児休業取得者数は6名に増加し、男女合計で19名が育児休業制度を利用しました。当社は、次世代認定マーク「くるみん」を三期連続*で取得しており、第四期の取得を目指してまいります。

* 第一期：2005年4月～2007年3月 第二期：2007年4月～2009年3月
第三期：2009年4月～2011年3月 第四期：2011年4月～2013年3月

産前産後休業、育児休業の取得者数推移



次世代認定マーク「くるみん」

子育て支援に会社ぐるみで積極的に取り組んでいる企業が商品やサービスなどに表示できるマーク。厚生労働省が、女性の育児休業取得率などの一定基準を定めています。

VOICE

育児に関する制度が充実していて本当に助かっています。

育児休業を利用する前は、子育ては妻任せでしたが、取得後は家庭内のことも率先して協力するようになりました。早く帰れるときは家族一緒に夕食をとるなど、家族との時間も大切にしています。リコーリースは、男女ともに育児に参加するための制度が充実していると思います。夫婦共働きなので、子育てに関してさまざまな制度があって本当に助かっています。



首都圏業務部
契約管理センター
品田 拓哉

TOPICS ノー残業デーを設けて、ワーク・ライフ・バランスを促進

仕事と個人の時間のメリハリをつけ、健康的に働ける職場環境の実現を目指して、当社では2007年11月から「全社一斉ノー残業デー」を設けています。開始当初は月2回でしたが、定時で退社することで生活のリズムや仕事の進め方に良い変化が見られたこと、また環境面や経済面でも効果が大きいことから、2008年10月からは毎週1回とし、ワーク・ライフ・バランスの促進を図っています。



ノー残業デーの啓発ポスター

CSRって、何？

CSRとは？

C=Corporate 企業の
S=Social 社会的な
R=Responsibility 責任

欧州ではSR (Social Responsibility)、アメリカではCC (Corporate Citizenship)と呼ばれることもあります。

CSRとは、企業が社会に対して果たすべき責任のこと。社会が持続的に発展していく上で、事業を通じた多様な活動とその報告が求められています。

リコーリースの基本的な考え方と主な取り組み

リコーリースは、社会の一員として事業活動を展開する上で、まずCSRを考える姿勢——「CSRファースト」を基本に社会からのさまざまな要請・期待に応えています。その一例を紹介します。



株主・投資家とともに



個人投資家向けの会社説明会を開催するなど当社の事業をご説明する機会を設けています。



お客様・取引先とともに



「お客様相談室」に寄せられたご意見や苦情内容に真摯に向き合い、サービスの向上に努めています。



従業員とともに



従業員の教育機会の拡大と成長意欲の啓発によって「自立型人材」の育成を図っています。



地域社会とともに



本社ビルにおいて、年2回の献血会を実施し、社員が献血活動に参加しています。



地球環境とともに



リース物件が排出するCO₂を相殺するサービス(カーボンオフセットリース)を提供し、温暖化防止に貢献しています。



生物多様性の保全に貢献するため、支笏湖畔の国有林で苗木保護のボランティアを行っています。

CSR報告書のご案内

取り組みの詳細は「CSR報告書」で報告しています。



CSR報告書は、ホームページでご覧いただけます。

www.r-lease.co.jp/csr/

リコーリース CSR 検索

※ 環境への配慮から印刷物での発行はしておりません。ご了承ください。

編集担当から一言

当社では、毎年CSR報告書を発行し、社会・環境側面に関わるさまざまな活動を報告しています。編集にあたっては、はじめてご覧いただく方にもご理解いただけるよう、わかりやすい構成や表現を心掛け、会社や社員の雰囲気をごできるだけお伝えできるように工夫しています。今後は、情報発信のみならず、皆様のご意見を伺う機会も積極的に設けていきたいと考えています。



CSR本部
眞砂 亜矢子

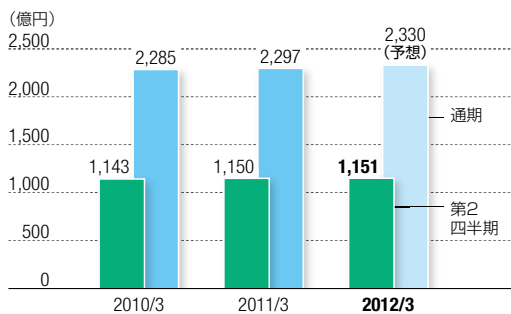
売上高

割賦売上高が増加し、売上高が増加

前年同期比 **0.1%増** 

売上高は、前年同期比微増の1,151億円となりました。リース取扱高が109億円増加したものの、前期までの減少が響き、リース料収入は前年同期比18億円減少しました。一方で割賦売上高は27億円増加し、受取手数料はほぼ横ばいとなりました。

売上高の推移



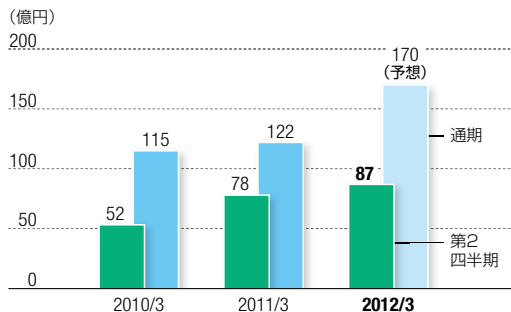
営業利益・四半期純利益

貸倒費用、資金調達費用の減少などにより、2桁増益を達成

営業利益 前年同期比 **12.0%増**  四半期純利益 前年同期比 **15.6%増** 

営業利益は、前年同期比9億円増の87億円となりました。政府の支援策などによる貸倒費用の減少に加え、再リースの増加や資金調達費用の減少により増益を達成しました。四半期純利益は、前年同期比6億円増の51億円となりました。

営業利益の推移



第2四半期累計連結損益計算書 (単位：億円)

科目	前第2四半期 2010年4月1日～ 2010年9月30日	当第2四半期 2011年4月1日～ 2011年9月30日
売上高	1,150	1,151
リース料収入	968	949
割賦売上高	58	85
営業貸付収益	10	10
受取手数料	14	14
その他の売上高	99	92
売上原価	1,000	998
リース料原価	845	826
割賦原価	53	80
資金原価	17	11
その他の売上原価	84	79
売上総利益	149	153
販売費及び一般管理費	71	65
営業利益	78	87
経常利益	77	87
税金等調整前当期純利益	76	87
四半期純利益	44	51

●連結包括利益計算書は、包括利益と四半期純利益との差異が小さいため、当報告書では省略しています。

当期連結業績の見通し

(単位：億円)

科目	前期 2010年4月1日～ 2011年3月31日	当期 2011年4月1日～ 2012年3月31日
売上高	2,297	2,330
営業利益	122	170
当期純利益	70	98

当期の見通し

欧州の債務問題や円高による輸出業者の不振、中小企業の倒産増加の可能性など懸念材料があるものの、第2四半期までの業績動向を踏まえ、当期の連結業績見通しを上方修正しました。売上高は前期比1.4%の増加、営業利益は38.8%、当期純利益は39.6%の増加を予想しています。

 詳細は、ホームページをご覧ください。 www.r-lease.co.jp/ir/finance/  リコーリース ハイライト 検索

第2四半期末連結貸借対照表

(単位：億円)

科目	前期末 2011年3月31日	当第2四半期末 2011年9月30日
資産の部		
流動資産	6,035	6,143
現金及び預金	20	16
割賦債権	450	456
リース債権及び リース投資資産	4,180	4,230
営業貸付金	776	823
その他	757	769
貸倒引当金	△150	△151
固定資産	135	146
賃貸資産	84	98
社用資産等	25	23
投資その他の資産	25	24
資産合計	6,171	6,290

負債の部

流動負債	3,194	2,946
支払手形及び買掛金	174	166
短期借入金・CP	1,466	1,641
1年内返済予定の 長期借入金・社債	1,077	667
その他	476	471
固定負債	1,957	2,280
長期借入金・社債	1,922	2,246
その他	35	33
負債合計	5,152	5,226

純資産の部

株主資本	1,015	1,060
その他の包括利益累計額	1	0
少数株主持分	2	2
純資産合計	1,018	1,063
負債純資産合計	6,171	6,290

●億円未満の数値は切り捨て処理しており、各科目の合計と合計欄の数値が一致しない場合があります。

語句解説

ROA(総資産当期純利益率)：当期純利益÷総資産 当社が目指す高収益体質の重要指標と位置付けています。

営業資産残高

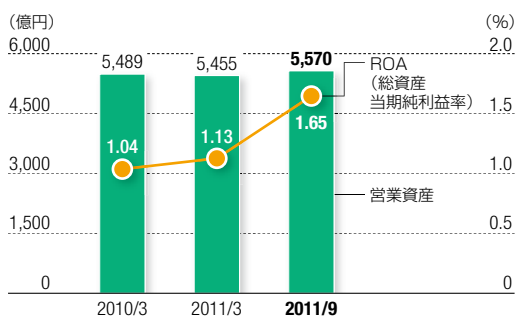
リース資産の増加などによりプラスに転換

前期末比 **115億円(2.1%)増** UP

営業資産残高*は前期末比115億円増加の5,570億円となりました。リース資産が63億円増加したことに加え、割賦が5億円、営業貸付金が46億円増加したことにより、前期末までの営業資産の減少を食い止め、増加に転じることができました。

* 営業資産残高と連結貸借対照表の割賦債権・リース債権及びリース投資資産・営業貸付金・賃貸資産の合計額が異なりますが、営業資産残高の割賦債権には未実現利益(利息相当分)が含まれないためです。

営業資産/ROAの推移



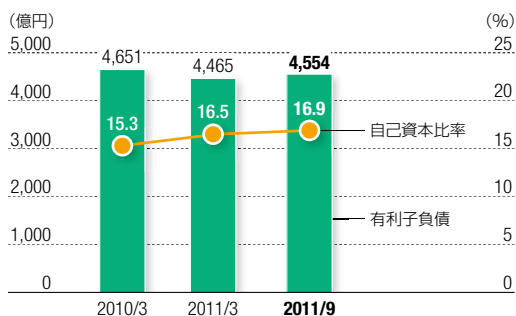
有利子負債

営業資産の増加に伴い、有利子負債が増加

前期末比 **89億円(2.0%)増** UP

有利子負債は前期末比89億円増加し、4,554億円となりました。短期借入金・CPは174億円、長期借入金・社債は324億円増加する一方、1年以内返済予定の長期借入金・社債は410億円減少しました。

有利子負債/自己資本比率の推移



リコーリースIRひろば 株主の皆様からの声を IR活動の充実に活かしてまいります。

前回（2011年3月期事業のご報告）の発行の際に、株主の皆様からIR活動に関するアンケートを実施したところ、2,516名の方々からご回答をいただきました。あらためて感謝申し上げますとともに、これからも一層株主の皆様のご意見を活かしたIR活動に取り組んでまいります。

ご意見をいただき改善した点

- 復興支援や節電対策など、東日本大震災への対応を教えてください。
→ 当社の取り組みをトップメッセージで報告しています。 P5
- リース・割賦事業で、社会貢献に関するリース物件が知りたい。
→ 医療サービス向上や省エネに貢献する取り組みを紹介しています。 P8-10
- 「CSRの取り組み」という記事があったが、「CSR」の意味がわからない。
→ 「CSR」の意味について説明しています。 P14

 アンケートの集計結果や株主の皆様から寄せられたさまざまなご意見・ご感想をご覧ください。
www.r-lease.co.jp/ir/individual/enquete.html  リコーリース 結果報告

IRページのご紹介

より使いやすく、わかりやすいIRページを目指して、「IR・財務情報」を充実させました。



IR・財務情報の歩き方

はじめての方でも迷わず閲覧していただけるよう、IRページ内の情報をわかりやすく紹介しています。

IRトピックス



株主総会や決算発表など、直近のIRスケジュールを掲載しています。

注目ページベスト5

閲覧されているIRページ内のランキングをご紹介します。



IR・財務情報の歩き方

 当社のIRページ「IR・財務情報」は、下記からご覧いただけます。
www.r-lease.co.jp/ir/  リコーリース IR

編集後記

この冊子は、株主の皆様への事業のご報告として年に2回発行しています。また、お取引先への会社案内としても活用しています。冊子を手にとって、まずは目で楽しんでいただきたいの思いから、表紙の企画には毎回特に力を入れています。今号ではリコーデジタルカメラを使用し、12月の季節を感じていただける表紙を目指したのですが、いかがでしょうか。次号でも、業績や活動報告にとどまらないリコーリースの特徴や魅力をわかりやすくお伝えしていきたいと思っております。

経営企画室 上田 絢子



会社概要 (2011年9月30日現在)

商号	リコーリース株式会社 (RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
本社所在地	〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12
資本金	7,896百万円
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 8566)
従業員	913名(連結)
設立	1976年(昭和51年)12月
事業内容	リース・割賦事業 金融サービス事業
財務局ナンバー	関東財務局長(10)第00286号

役員 (2011年9月30日現在)

取締役	執行役員
代表取締役 吉田 勝美	会長執行役員 吉田 勝美
代表取締役 有川 貞広	社長執行役員 CEO 有川 貞広
取締役 打込 愛一郎	専務執行役員 打込 愛一郎
取締役 島田 昇次	専務執行役員 島田 昇次
取締役 長田 泰賢	常務執行役員 長田 泰賢
取締役 我妻 一紀	常務執行役員 清見 純子
	執行役員 吉川 淳
	執行役員 真鍋 求
	執行役員 中嶋 祥行
	執行役員 武藤 裕文
	執行役員 梨木 隆志
	執行役員 橋本 知明

※ 印を付した監査役は株式会社東京証券取引所の実定独立役員です。

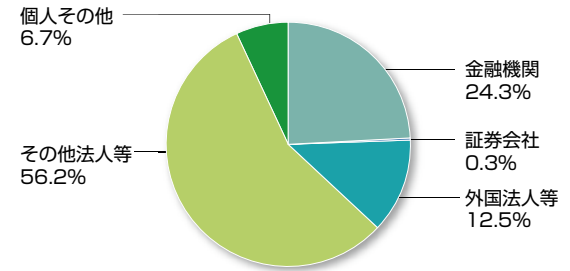
監査役

常勤監査役	重山 荘平
社外監査役	皆川 邦仁
社外監査役	大澤 洋
社外監査役*	小林 貞五

株式の状況 (2011年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	120,000,000 株
発行済株式の総数	31,243,223 株
株主数	9,505名(単元株主数 8,516名)

株式分布状況(所有者別) (2011年9月30日現在)



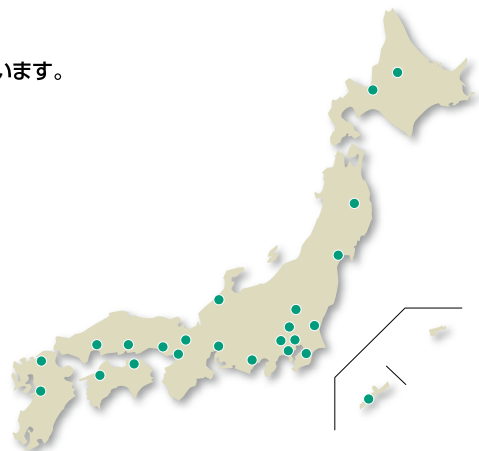
大株主上位10名 (2011年9月30日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社リコー	14,638	46.85
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,742	5.58
全国共済農業協同組合連合会	1,233	3.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,069	3.42
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	994	3.18
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	992	3.18
リコージャパン株式会社	763	2.44
三菱石油株式会社	569	1.82
コカ・コーラウエスト株式会社	502	1.61
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	364	1.17

営業拠点 (2011年9月30日現在)

北海道から沖縄まで、リコーリースは日本全国の地域をカバーしています。

北海道	札幌/旭川
東北	仙台/盛岡
関東	東京(本社・テクノレント) 立川/横浜/千葉 さいたま/宇都宮/水戸
中部	名古屋/静岡/金沢
関西・四国	大阪/神戸/京都/高松/松山
中国	広島/岡山
九州	福岡/熊本/那覇



各営業拠点の住所と連絡先は、こちらをご覧ください。

www.r-lease.co.jp/info/company/index2.html

リコーリース 事業所一覧 検索

リコーデジタルカメラのご紹介



CX3

「CX3」は、裏面照射型CMOSセンサーの搭載やノイズリダクション機能の採用によって、夜間や室内などの暗いシーンでもクリアで美しい撮影を実現。さらに、1,280×720画素のHD動画撮影機能も搭載することで、カメラの楽しみ方を広げます。

表紙写真について

「ポインセチア」

鮮やかな赤い包葉が、冬の室内をパッと明るくしてくれます。およそ200年前にメキシコで発見されたポインセチアは、今ではクリスマスを象徴する植物として、日本でも季節の訪れを感じさせてくれます。

撮影機種：リコーデジタルカメラ CX3

フォトコンテストのご紹介

株式会社リコーでは、リコー製デジタルカメラで撮影した皆様の作品の各種フォトコンテストを開催したり、ユーザーレポートを募集したりしています。応募要項や受賞作品、フォトグラファーズギャラリーの作品は、下記リコーのホームページでご覧いただけます。



www.ricoh.co.jp/dc/photostyle/

リコーフォトスタイル

検索

本冊子は、環境や読者の利便性に配慮した制作を心掛けています。



水なし印刷

廃液が有害物質等を含む現像液や湿し水を使用しない、環境にやさしい印刷方式「水なし印刷」を採用しています。



VOCフリーインク

石油系溶剤を植物油成分に100%置き換えた「VOC成分ゼロ型インキ」を使用しています。



カーボンオフセット

冊子を制作した際に排出したCO₂: 2,424kgは、一般社団法人日本カーボンオフセットを通じてオフセット相殺され、地球温暖化防止に貢献します。



FSC認証紙

適切に管理された認証森林からの木材を使用した用紙が使われています。



カラーユニバーサルデザイン

色覚の個人差を問わず、多くの方に情報がきちんと伝わるように、配慮されたカラーユニバーサルデザインの認証を取得しています。

糊付製本

冊子のページを綴じるのに針金を使用せず、糊付で製本しています。不要になった際に、針金と紙を分別せずに資源として回収・リサイクルすることができます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載する。 http://www.r-lease.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8566

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社*
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎ 0120-176-417
住友信託銀行ホームページ	http://www.sumitotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

ご案内 | 株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

- * 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である住友信託銀行は、平成24年4月1日付で商号を「三井住友信託銀行」に変更する予定です。
- ** 郵便物送付先の住所および電話照会先の電話番号に変更はございません。

リコーリース株式会社

〒135-8518 東京都江東区東雲1-7-12
お問合せ先：経営企画室 TEL: 03-6204-0608 E-mail: ir@rle.ricoh.co.jp

<http://www.r-lease.co.jp/>